



「神は聖書の中で人間を通して人間の方式で語ったので、聖書の解釈者は、神が何をわれわれに伝えようと欲したのかを見極めるためには、聖書記者たちが実際に何を表現しようと意図したのか、神が彼らのことばによって何を明らかにしようと望んだのかを、注意深く研究しなければならない」（『啓示憲章』12）。

## ◆ 聖書記者たちの意図を理解する

「聖書記者たちの意図を発見するために、当時の状況と文化、当時使われていた『文学類型』、当時普通であった感じ方、話し方、物語り方を考慮する必要があります。『実際、種々の方式での歴史的な、あるいは預言的な、あるいは詩的な書において、またその他の表現形式において、真理は違った方法で語られ、かつ表現されています』」（カテキズム110）。

- 私たちは、聖書をより正しく理解するために、学者たちが編集した聖書辞典や注解書などを用いて、聖書記者が用いた言葉や当時の状況について勉強する必要があります。
- 自分にも分かる言語のいろいろな翻訳を読み、それを比較することによって、言葉や表現の元々の意味や当時の使い方の理解を深めることも大切です。

## ◆ 聖霊の光のもとに読む

- 神の言葉を見出すためには、人間の作者の言葉の真の意味に基づいて、聖書の作成に関わったすべての人を導いてくださった聖霊に照らされて聖書を読み、解釈しなければなりません。
- 聖霊の光のもとに聖書を読むためには、まず**信仰と聖霊の導きに従いたいという望み**が是非必要です。
- 聖書を読む前に、例えば、次のような祈りを唱えることができます。

「聖霊、来てください。  
いつも、聖書の言葉を通して、私に語ってくださること、  
神の愛を示し、正しいことを教え、励まし、  
導いてくださることを感謝いたします。  
神の語られる言葉を理解することができるよう、  
私の心を開き、理性、感覚、記憶を照らしてください。  
理解したことを実行し、愛に成長することができますように、  
私の心をあなたに対する信頼と愛で満たし、力付けてください。  
私たちの主、イエス・キリストによって。アーメン。」

- 聖霊の導きに従って聖書を読み、それを解釈するために、第2バチカン公会議の公文書において教会は三つの規則を与えています（カテキズム112-114、『啓示憲章』12）。

- ◇ **第1の規則**は、聖書全体の内容と**統一性**（一体性）に特別な注意を払うこと、
- ◇ **第2の規則**は、教会の生きた**聖伝全体**に従って聖書を読むこと、

☆ **第3の規則**は、**信仰の類比**を考慮に入れることです。

### 聖書全体の内容と統一性に特別な注意を払う

- 聖書全体の内容とその統一性に特別な注意を払うということは、聖書全体が、一人の作者である**神ご自身によって作成された一つの書物**として認め、聖書の別々の個所から互いに矛盾しているような結論が出た場合には、その内の少なくとも一つの結論が間違っている（両方とも、間違っているという可能性もある）ということをお認めることなのです。それは、また、いろいろな所から読み取った様々なメッセージの関連を見出し、それを一つの大きなメッセージに繋げること、あるいは、一つの個所から読み取った神の言葉によって、他の個所を照らし、その理解を深めることでもあります。

### 教会の生きた聖伝全体に従って聖書を読む

☞ 「何よりもまず心得てほしいのは、聖書の預言は何一つ、**自分勝手に解釈すべきではない**ということです。なぜなら、預言は、決して人間の意志に基づいて語られたのではなく、人々が聖霊に導かれて神からの言葉を語ったものだからです」（二ペト1・20-21）。

- 「**自分勝手に解釈する**」とは、一人で聖書を読んだり、個人的に解釈することではありません。それは、イエス・キリストの証人、イエスご自身からイエスの名によって教える権威を授けられた**使徒たちの教えを無視すること、また、彼らの教えに逆らうような解釈をすること**です。
- 「聖伝」（聖なる伝承）とは、教会が**文書以外の形で使徒たちから受け継がれたもの**も、イエスの福音を忠実に伝えるものです。
- 使徒たちは、イエスから与えられた使命を果たし、イエス・キリストの福音を宣べ伝えるために、説教したり、聖書に基づいて他のユダヤ人と論じ合ったりしただけではなく、自分たちの生き方、多くの奇跡を含む宣教活動、回心した人々に洗礼を授けること、キリスト者の共同体とその組織を作ること、また、他のキリスト者と共に祈り、貧しい人々を助け、共同体の生活によって、言葉のみで伝えることのできないことを伝えたのです。
- 聖パウロは、キリスト者たちに（後に新約聖書の一部となった）手紙だけではなく、口で伝えたことも、自分の生き方によって伝えたことも固く守るように呼び掛けています（二テサ2・15、一コリ11・1）。そのとおりに、教会は、2000年前から、聖パウロと他の使徒たちから受け継いできたことを、その教えと生活において、また典礼などにおいて保ち、それを次の世代に伝え、これからも、世の終わりまで、伝え続けるのです（カテキズム78、『啓示憲章』8）。
- 聖伝に従って聖書を読むとは、昔から伝わってきたことをそのまま繰り返すのではなく、聖伝に逆らわないように注意しながら、それを自分の現状に適用したり、現代の人に分かりやすい言葉で表現したり、その理解をさらに深めたりすることなのです。

### 信仰の類比を考慮に入れる

- 教会は、聖書と聖伝という形において、神の言葉（福音）という**信仰の聖なる遺産**を直接的に、または、間接的に、使徒たちから受けつぎました。この信仰の遺産を保つこと、それを説明すること、また、それを広めることは、**使徒たちの後継者である司教たちの務め**です。このような務めを与えられた司教たちは、聖ペトロの後継者であるローマの司教、すなわち教皇様と一致している**教会の教導職**です。
- 聖伝に従って聖書を読み、使徒たちが伝えた教えに忠実に聖書を解釈したいなら、自分の考えよりも、教導職による教会の正式な教えを優先するべきなのです。
- 使徒たちの教えを伝え、それを正しく解釈している教会の教えに基づいて聖書を読む私たちも、間違った解釈を避けることができるばかりか、その教えを知らずに読んでいたときには全然分からなかった言葉の意味が分かり、また、部分的にしか理解していなかった個所をもっと深く理解することができるのです。

## ◆ 聖書の靈的な意味

- 聖書を神の言葉として読みたいならば、聖書が作成された目的、つまり私たちが救いのために必要としている真理を伝えるために書かれた書物であるということ意識し、その真理を見極めるために読まなければなりません。
- 神がこの文書を通して伝えてくださる真理は、「靈の意味」、または、「靈性的意味」と呼ばれています。
- カトリック教会のカテキズム（115、117）において、靈の意味は、寓意的意味、道徳的意味、天上的意味に細分されています。

## 寓意的意味

- 聖書の本文は、直接的にいろいろな人物や出来事、また、場所やものについて語っても、多くの場合、間接的にイエス・キリスト、また、イエス・キリストの救いの働きについて語っています。ですから、聖書を読むときに、今読んでいる個所をイエス・キリストと関連づけて考察することは、非常に有意義なことです。  
例えば、イスラエルの民の過ぎ越し、つまり、エジプトから解放され、紅海を通過したことは、キリストの過ぎ越し、つまり、イエスの死者の中からの復活、また罪とその結果である死に対する勝利を意味します。  
兄弟によってエジプトに売られたものの、結果的に自分の家族を助けたヨセフ、また、イスラエル人をエジプトから導き出したモーセは、救い主の前表、または、表象です。

## 道徳的意味

- 聖書において、神が与えてくださった戒め、また、イエス・キリストの教えや聖パウロのいろいろな指示は、私たちに真の善と真の悪を示し、正しい価値観と同時に、正しい生き方をはっきりとした仕方と教えてくれます。  
📖 「これらのことは前例として彼らに起こったのです。それが書き伝えられているのは、時の終わりに直面しているわたしたちに警告するためなのです」（一コリ10・11）。
- ですから、表面的には、正しい生き方についての教えと関係のない出来事や物語やいろいろな人々の働きや経験なども、私たちに正しい行動に導く可能性がありますので、聖書のあらゆる書、あらゆる個所を読むときに、自分がより正しく生きるための導きやヒントを求めることが、大切です。

## 天上の意味

- 神は、人間にご自分を求めさせ、人間をご自分のもとへと引き寄せるために、人間の創造の目的である、神の国や永遠の命とも呼ばれる天国のすばらしさを、いろいろな出来事や言葉を通して現してください。ですから、聖書に記されているいろいろなことがらや出来事から、永遠の意味を考察することもできます。
- \*
- 洗礼を受け、神の命にあずかって、キリストの弟子、また、神の子どもとして生きている人は、聖書の本文を忠実に読むと同時に、自分が生きている現状を意識しながら、聖霊の導きに従って、イエス・キリストがご自分の死と復活によって成し遂げた救いのわざを土台にして、聖書を読むならば、どんな時代、どんな文化であれ、自分が生きている具体的な状況において最も必要な真理、最適な導きを見出すことができるのです。

「字義は出来事を、  
寓意的意味は何を信じるべきかを、  
道徳的意味は何を行うべきかを、  
天上的意味はどこに向かうべきかを教える」。

（ダキアのアウグスチヌス）